

連合徳島ユースターNEWS



(2024年度 第1号)

7月となり梅雨も明けてから、今年も急激に気温が上がってきました。コロナも第5類に移行されたものの、身の回りでも感染者は増加しており、徳島県でも現在の注意喚起メッセージは「警戒」となっております。ちょうど暑さでバテたところで感染してしまわないように、みなさん体調管理に気を付けて、水分補給と十分な休息をとりながら仕事や様々な活動に取り組んでいきましょう。

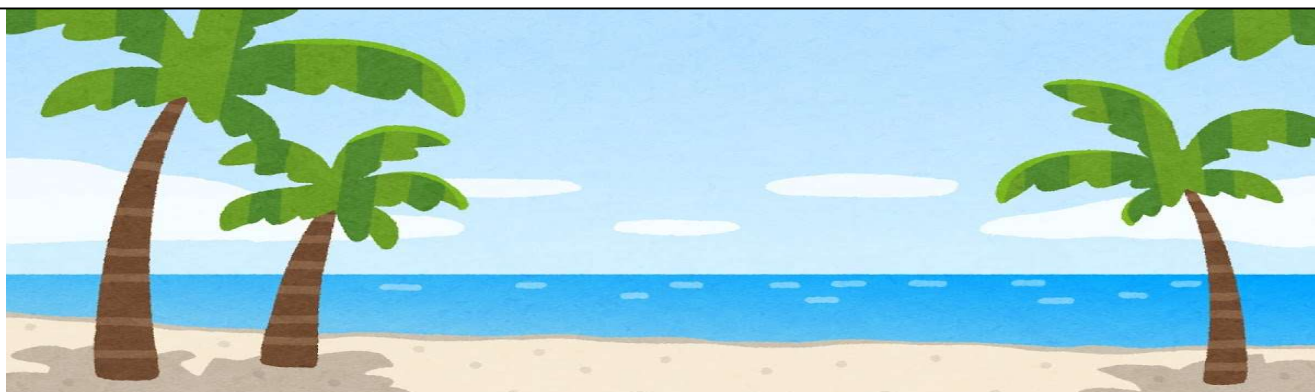
さて、前回総会特別号の発行から、少し間が空きましたが、ユースターNEWS2024年度第1号を発行させていただきます。

今号では、新体制が始動してから6月までの主な活動について簡単に報告させていただきます。

また、その中でもトピックスとして3月16日に開催の「春季学習研修会」の研修レポートを掲載しております。今ちょうど我々が直面している問題についての充実したねい用の研修となっておりますので、ぜひご一読ください。

【経過報告】

- ①「2023年生活困窮者越年支援」の協力（2023年12月29日）
 - 同活動に青年委員会より1名が参加しました。
- ②「青年委員会 第1回幹事会」（2024年1月11日）
 - 新メンバーでの最初の幹事会ということで9名の青年委員に参加いただき、2024年度の活動の目的や活動体制、年間活動計画について確認を行いました。また、春季学習研修会の内容について議論を行い、2024年問題について講演いただくことを決定しました。
 - そのほか、青年委員会顧問の取り扱いや女性委員会との統合についてなど執行委員会での指摘内容についても議論を行っております。
- ③「第44回 部落解放・人権徳島地方研究集会」（2024年2月8日9日）
 - アスティとくしまにて、開催されました。青年委員会からは3名が司会対応、受付対応等の任務を担当いたしました。
- ④「青年委員会 第2回幹事会」（2024年2月14日）
 - 本幹事会においては3月4日に開催されるイベントの対応の確認を行いました。
- ⑤「2024 春闘総決起集会」アピール文の読み上げ（2024年3月4日）
 - 徳島グランヴィアホテルで開催されました。青年委員長が集会に参加し、アピール文の読み上げを実施しました。
- ⑥「2024 春季学習研修会」（2024年3月16日）
 - 2024年問題をテーマに連合本部の松永氏を講師に招き講演いただきました。レポートは別掲いたしますが、多数のご参加ありがとうございました。
- ⑦「未来のわたし」絵画コンクール 表彰式（2024年3月17日）
 - 上記の会に青年委員が2名参加し、駐車場の案内など協力を行いました。
- ⑧「第95回 徳島中央メーデー」（2024年5月1日）
 - 例年通り、新町川公園においてメーデーが開催されました。本来であれば行進のシュプレヒコールを担当する予定でしたが、あいにくの空模様で行進は中止になりました。



【2024年度 春季学習研修会レポート】

2024年3月16日に労働福祉会館において青年委員会の2024年度春季学習研修会が開催されました。

「2024年問題」による労働者への影響という題で連合本部の松永様に1時間半ほどに渡り質疑応答やクイズを交えるかたちで楽しく、そして興味深い講演をいただきました。

講演の内容としては主に3つのセクションでの運びとなり、1つ目のセクションでは「2024年問題」の概要、2つ目のセクションでは「2024年問題」の主眼となる3業界（物流、医師、建設）の現状、3つ目のセクションでは「2024年問題」の主眼となる3業界の時間外労働規制の詳しい内容や改善への取り組みを紹介していただいた。

1つ目のセクションでは3業界ともに労働時間が規制されることにより人手不足の影響をまろに受け、私たちの消費者側にも多大なる影響を及ぼすことを紹介していただいた。

2つ目のセクションについては、まず3業界ともに人手不足ということ、物流業界においては固定給の割合が低いこと、医師業界においては時間外・休日労働数が過労死ライン（年960時間超の勤務医の割合が全体の2割にも達しており、尚且つ今後高齢化により医療のニーズの増加がもまれてしまっていること、建設業界においては外勤の方の所定外労働が多く、また業界全体での高齢化が深刻な問題として取り上げられているのが特徴的であった

3つ目のセクションでは改善等に向けて産官民での取り組み、また、連合も意見交換や会議等を通じて取り組みを行なっていることを紹介していただいた。

その後も質疑応答において、直接その業務を行っている参加者から物流部門の実情や今後についての話もあり、より身近な問題として感じることができました。また、直接「2024年問題」自体に影響のない職種においても、今回の学習研修会を通して社会全体に与えられる影響があることを理解し、全く関係のない話ではないことを理解できたと思います。

以下に、同会のアンケートで得られた意見などをいくつか紹介したいと思います。

【2024年度 春季学習研修会 アンケート感想抜粋】

- ・物流・医師・建設業の実態を知り、使用する側も考えていかなければならないと思った。無駄な待ち時間や再配達などをなくさなければいけないと思った。【自動車総連】
- ・これまで自治労以外の産別の細かな実態を知らなかったので、法令のことと併せて勉強になりました。このような制度・実態を把握しておかないと、今の自分たちの働き方のどこが問題なのかわからなくなるため、問題に気づく支店を養ううえでも重要だと感じた。【自治労】
- ・物流・医師等の職場環境について、過酷な労働条件と知った。労働時間があまりにも多いことに驚愕。【電機】
- ・無駄な時間をはぶいてもまだ時間が足りない物なんだなと思った。あまりにも時間をけずると次は技術力の低下につながったりするので難しい問題だ【全水道】



連合徳島ユースターNEWS



(2024年度 総会特別号)

【総会要旨報告】

2023年度は、新型コロナ禍の制約がようやくはずれ、少しずつではあるが以前のように対面や実地での活動を進めていくことができた。

一方、社会での働く青年層を取り巻く状況は厳しいものであり、「若年層のうつ」といったメンタルヘルスに関する問題や、正規労働者・非正規労働者間の賃金や労働関係の格差による問題なども深刻さを増しており、そのために将来に向けた人生設計が描きにくく、目の前の不安から結婚や出産を躊躇する人も少なくない。

このような状況を少しでも改善するためにも現在約17%である組織率を引き上げることや、未組織の環境で働く身近な仲間たちの環境を、様々なアプローチで改善していくことが喫緊の課題である。そのためにも、青年委員会の活動の中でも特に「職場の活性化」に果たす役割をより重要なポイントであると考えている。

2024年度の活動計画として、2023年に引き続き、

「紡いだ絆はどんな困難にも負けない。変化を恐れず、新たなチャレンジを続けよう！」

のスローガンを採択し、当事者意識や建設的な目線といったポイントをより明確にし、昨年の活動をベースに新たな取り組みにもチームとしてチャレンジしていく方針が確認された。

青年委員会幹事会メンバー各個人が主体的に考え、行動しフラットな関係でお互いにサポートしあえるチームであると考え、前例にとらわれず思い切ったチャレンジをしていけるよう、メンバーみんなの力を合わせて活動を進めていくことを決意し、藤井委員長の団結ガンバローで閉会した。



【2024年度 幹事会体制】

役職	氏名	構成組織
委員長	藤井 一記	電機連合
副委員長	圓山 康平	全水道
事務局長	長岡 裕己	自治労
事務局次長	湯藤 達也	全労金
幹事	辰巳 明宏	UAゼンセン
幹事	橋 拓	J P 労組
幹事	増田 紫苑	交通労連
幹事	小原 政樹	電力総連
幹事	村井 貴	JAM
幹事	佐藤 大樹	農協労連
幹事	下村 圭佑	全国一般

連合徳島青年委員会(ユースター)設置の経緯や目的とは？

連合徳島では、労働運動の活性化と次代を担う人材の交流・育成を目的として、青年委員会および女性委員会をそれぞれ設置いたしました。

青年委員会は、2003年の「連合ユース・プロジェクト」で検討、集約された『明日の連合をつくる青年活動の指針』の提言に盛り込まれた、以下の4つの目的意識を明確にして、日々の活動に取り組んでいます。

- ①労働運動を担うリーダーの育成
- ②仲間同士の交流・ネットワークづくり
- ③青年が抱える特有な問題の把握と解決
- ④労働運動を通じた社会活動・国際連帯

【青年委員会の主な活動】

年間を通じて、幹事会の定期的な開催や春季・秋季学習会を開催するとともに、女性委員会との合同研修会に参加。また、各種ボランティア活動への積極的な参加と連合徳島が開催する集会等の運営をサポートしています。活動報告については、不定期ですが、連合徳島ユースターNEWSの発行等により実施しています。

青年委員会広報体制整備についてのお知らせ

連合徳島青年委員会は、連合所属の様々な組織から青年層が集い、各種会議・研修・その他企画の運営等を通じて交流を深め、情報交換等を行いながら、各人の思考を深め、幅を広げ、スキルアップ等を図るうえでも貴重な場となっております。

ただ、運営していく中で、広報体制の整備が不十分で、対外的な発信が弱く、せっかくの活動の成果等が広く認識されず、各組織の共通の果実でない状況であることが、長年の課題となっております。

その解決策として、2023年度より活動報告資料としての「ユースターNEWSの作成・充実」を第1ステップとして着手し、第2ステップとして、「連合徳島HPを活動報告資料等のプラットフォームとして活用・整備」、「SNS (Facebook)での発信」に着手することとしました。

連合徳島HPへの資料掲載については、2024年1月末現在、2023年度の活動とユースターNEWSの掲載のみとなっておりますが、徐々に内容の充実を図っていきます。

また、Facebookについては、速報性を大事にしながら「連合徳島青年委員会」ページにて活動報告等の発信をしています。今後とも継続して発信を行い、活動の成果を皆様にお伝えできるよう活動を行っていきます。

連合徳島HPおよびFacebookページのQRコードを添付しておきますので、ぜひご一読ください。当該ページのフォロー、更新を気に掛けていただけましたら幸いです。



連合徳島HP活動報告等
(NEWS他の資料を掲載)



連合徳島青年委員会
Facebookページ



[2024役職]
委員長
[氏名]
藤井 一記
(ふじい かずのり)
[所属]
電機連合
(PHC労組)

【青年委員会代表メッセージおよび自己紹介】

今期より、委員長の任務を拝命しました藤井です。

このような役職を承ること自体初めての経験であり、右も左もわからない状態ではありますが、前任の委員長に助言をいただいたりしつつ、新しい青年委員の執行部を中心として、各メンバーと一致協力して、新しい活動を進めていければと考えております。

青年員会の活動計画にもあるように「建設的な目線で、変化を恐れず、新たなチャレンジを続けよう！」を実行していけるように幹事会一同、頑張っていきたいと考えております。

いろいろ至らない部分も多いとは思いますが全員で力を合わせて、力強い一歩を刻んでいきましょう！

青年委員会メンバーの横顔



[2024役職]
副委員長
[氏名]
圓山 康平
(えんやま こうへい)
[所属]
全水労
(特水労)

2年目になります、全水道の圓山です！

まだまだ組合活動も日が浅く、無知な部分もありますが、まずは楽しく活動できるよう皆さんと協力してやっていきたいです！



[2024役職]
事務局次長
[氏名]
湯藤 達也
(ゆとう たつや)
[所属]
全労金
(四国労金労組)

今年度、事務局次長の任に就かせていただく四国労金労組の湯藤と申します。最近では、運動(ジョギング等)することが趣味になってます。初めてと言うこともあり、迷惑をかけることであろうかと思いますが全力で取り組ませていただきますのでよろしくをお願いします。



[2024役職]
事務局長
[氏名]
長岡 裕己
(ながおか ゆうき)
[所属]
自治労
(美馬市職労連)

事務局長を務めています自治労の長岡です。連合徳島青年委員会は、普段交わる機会が少ない他産別の仲間と単組・産別を越えた「運動交流」、職場での働き方や生活の「実態交流」ができる貴重な場です。2年目となる今年は、徳島の青年労働者が抱える課題の解決にむけて、青年委員会の仲間とともに、1人でも多くの産別の仲間を巻き込んだ学習の機会づくりに励みたいと思います。

連合徳島青年委員会の活動の前進にむけて、ともに頑張りましょう。



[2024役職]
幹事
[氏名]
辰巳 明宏
(たつみ あきひろ)
[所属]
UAゼンセン

青年委員会幹事 2期目になります。新しい体制になり、多くの皆様に活動していきたいと思います。青年委員会の活動の目的「労働運動を担うリーダーの育成」を大切にしたいと思っています。今期も宜しくお願い致します。



[2024役職]
幹事
[氏名]
橘 拓
(たちばな たく)
[所属]
JP労組
(徳島中央支部)

今年度も引き続き幹事をさせていただくJP労組の橘です。仕事は郵便局で営業の仕事をしています。去年度よりも積極的な活動ができるように頑張りますのでよろしくをお願いします。

青年委員会メンバーの横顔



[2024役職]
幹事
[氏名]
増田 紫苑
(ますだ しおん)
[所属]
交通労連
(四国高速運輸労組)

昨年度に引き続き幹事をさせていただきます
交通労連の増田です。

青年委員会で学んだことを自組織での活動にも生かせるよう積極的に楽しく活動していきたいと思っています。

1年間よろしくお願いします。



[2024役職]
幹事
[氏名]
小原 政樹
(おばら まさき)
[所属]
電力総連
(四国電力労組)

今年から新しく青年委員となりました電力総連の小原です。
新任でわからないこともありますが皆さんよろしくお祈いします！
楽しむことも大切にして活動を精一杯盛り上げていきたいと思ひます。



[2024役職]
幹事
[氏名]
村井 貴
(むらい たかし)
[所属]
JAM

今年度より幹事をさせていただきますJAMの村井です。
組合活動はわからないことばかりですが、頑張っまいますのでよろしくお祈いいたします。



[2024役職]
幹事
[氏名]
下村 圭佑
(しもむら けいすけ)
[所属]
全国一般
(徳島ペプシコーラ支部)

今年度から青年委員会の幹事を務めさせていただきます、全国一般の下村です。
徳島ペプシコーラ支部で支部長をやっていますのでこちらで得た知識や経験を社内の組合員とも共有し、組合拡大に繋がればと思ひます。まだまだ未熟で至らぬ所も多々あると思ひますが委員長はじめ委員会の仲間と共に成長できるように頑張りますのでよろしくお祈いします。



[2024役職]
幹事
[氏名]
佐藤 大樹
(さとう だいき)
[所属]
農協労連
(板野郡農協職員労組)

今年度から青年委員会幹事になりました農協労連の佐藤大樹です。平和行進や団結集会から自治労をはじめ多くの仲間に出会えたことに感謝しています。またこれからも、連合徳島青年委員会の活動を通して、他産別の仲間との連帯・連携を強く拡げていきたいと思っています。

職場では「異端児」と経営陣から見られていますが、他産別の事例や取り組みを、単組や農協労連でも勝ちとれるよう活動に参加し、楽しく仕事ができる職場づくりに取り組んでいきますので、よろしくお祈いします。



退任役員からのメッセージ



昨年度まで青年委員長を拝任しておりました、電力総連の小畑です。

連合徳島の青年委員会活動が休止状態から再開するに至った2008年から約15年間青年委員長という重要なポジションで仕事をさせていただきました。

思い返せば、もちろん、大変なこともありました。本当にたくさんの貴重な体験をさせてもらいましたし、素晴らしい仲間たちとの出会いがありました。人との出会いが大きな財産であり、関わっていただいた皆さん全てに感謝いたします。

これまでと役割や立場は変わりますが、長年の経験で得た経験などを活かし、青年委員の活動を力強くサポートしていくことができると考えております。

2024総会での退任のあいさつでもお伝えした通り、年齢・役職等に関わらず、ずっと気持ちは「連合徳島青年委員会」の一員として、その活動を見守っていければと考えております。

本当にありがとうございました。

【2023年度 委員長 小畑 文人(こばた ふみと) 電力総連(四国電力労組)】



長年の委員長活動
ありがとうございました！



連合徳島ユースターNEWS



(2024年度 第2号)

皆さんお久しぶりです。1号の発行から5か月ほど空きましたが、12月になり、急に気温も下がりようやく、冬本番といった感じとなってきました。山の木々もようやく紅葉したかと思えば、あっという間に枯葉が舞っています。急激な気温の変化に体調など崩さぬよう、健康に気を付けて活動を頑張りましょう。

さて、今回ユースターNEWS2024年度第2号を発行させていただきます。今号では、全豪発行以降の主な活動について簡単に報告させていただきます。トピックスとして11月9日に開催の「秋季学習研修会」と11月23日に開催された「青年委員会・女性委員会 学習交流会」の研修レポートを掲載しております。今ちょうど我々が直面している問題についての充実した内容の研修となっておりますので、ぜひご一読ください。

【経過報告】

- ①「青年委員会 第2回幹事会」 (2024年7月30日)
- ②「青年委員会 第3回幹事会」 (2024年9月19日)
 - 秋季の活動に向けて、学習会の内容や日程について議論を行いました。
- ③「全国人権保育研究集会」 (2024年10月26日)
 - 参加者の誘導対応など、運営の支援を行いました。
- ④「反差別研修・岡山」 (2024年11月1日～2日)
 - 青年委員会からも幹事が研修に参加し、2日間にわたってハンセン病に関わる歴史などを学びました。
- ⑤「秋季学習研修会」 (2024年11月9日)
 - 徳島市万代町にあるNPO法人クレール様に伺い、盲目のピアニスト佐藤ひらりさんのコンサートと合わせて、同理事長からクレールの成り立ちや、実際子供宅食を行っていく中での実例をお話いただき、現状について学びました。
- ⑥「青年委員会・女性委員会 学習交流会」 (2024年11月23日)
 - 男性育休制度にまつわる法令改訂について、今回の改定内容を1項目ずつ内容について法令改正時の苦労話なども交えながら講演いただきました。
- ⑦「青年委員会 第4回幹事会」 (2024年12月2日)



【2024年度 秋季学習研修会レポート】

11月9日に徳島市万代町のNPO法人クレールで開催された、秋季学習研修会について、参加者の2名の方に感想をまとめていただきました。以下にそれらを紹介したいと思います。

「連合徳島青年委員会秋季学習会にて、特定非営利法人Creerの原田理事長と喜多條さんから事業内容、本組織の立ち上げに至った経緯等を約2時間講演していただきました。

本組織は、元々は障害者支援を中心として立ち上がった組織であったがその後、こども食堂、こども宅食等の事業を開始。その中でも、こども宅食の話は胸を打たれるものがありました。この徳島にも家庭環境による貧困、虐待等多くの問題を抱えた家庭があることは、把握はしていましたが実体験を聞くと想像以上でした。また、実際に配達をされている方々ならではの家庭環境を見る目線については目から鱗でした。

今現在、物価の高騰等によりCreerさんでは、経営状態も厳しいとの声も最後にはありました。現与党では、消費税増税、また防衛費増強等を中心に政策を進めていますが、さらなるセーフティーネットの拡充、こども等への支援等にも気を配り、社会的弱者と言われる人達により歩み寄った政治が必要ではないでしょうか。」

「2024年11月9日にクレール徳島様にて秋季学習会を開催した。

前半には全盲のピアニスト佐藤ひらりさんのピアノコンサートを鑑賞した。全盲とは思えない程の力強く繊細なピアノには心を打たれるものがあり、身体的なハンデがあっても、今自分が置かれている状況と向き合い最善を尽くすことの大切さを感じた。

今後の自らの生活においても、何かを言い訳にするのではなく、今何ができるかを考え行動をしていくべきと感じた。

後半にはクレール様の活動内容について紹介をいただいた。

恥ずかしながら、自分自身、活動について知らないことばかりであり、この徳島県にもこども食堂や配達などを必要としている人が多くいる点についても衝撃を受けた。職員の方の家からでる事の出来ない家庭に、配達を行い生活環境が改善し、明るくなっていく話にはこちら心も温かくなった。また、障害のある方でも生き生きと働くことのできる職場作りなど、みんなが共生して生活のできる環境作りなどの取り組みには感銘を受けた。

今回の学習会を通して、考えることも多く次に自分ができることは、自ら支援などの活動を行うこと、また、今回得た知識を多くの方に共有し、少しでも多くの人に活動を知ってもらい活動の輪を広める事だと考える。そのことを胸において更なる共生や環境の改善に向けて自らができることは何かを考えて、誰かの手助けになるよう生活をしたい。」

クレールの喜多條さんと原田さんから、クレールの成り立ちと、実際の活動の事例、それと合わせて現状とこれからの課題について赤裸々に話していただき、行政との連携の重要性や後継者の問題などまだまだこれから乗り越えていかなければならない課題は多いと感じるが、我々



【2024年度 青年委員会・女性委員会 学習交流会レポート】

2024年11月23日に労働福祉会館において青年委員会・女性委員会の2024年度学習交流会が開催されました。育休制度や介護休暇についての法改正内容について、連合のジェンダー平等・多様性推進局長の菅村さんを迎え講演いただきました。

こちらについても参加者の方に感想をまとめていただきましたので、それを紹介したいと思います。

「11月23日、本部より講師の菅村さんをお招きし、学習交流会を実施しました。主に男性の育児休暇、休暇制度の利用の実態や介護休暇制度についてお話しいただきました。近年、男性の育児参加が進んでいるといったデータはあるものの取得期間が短かったり、職場によっては取りづらさがやはりあるといった傾向が出ていました。

個人の感想としては育児休暇をとった人の周りの職員もなにかメリットがあればなと感じました。育児休暇を取得した人は言えば休みがある(休みと言っても育児は大変ですが)訳ですが周囲の人にとってはその人の仕事が割り振られる訳ですから何のメリットにもなりません。そこを取得していない職員にもメリットが出れば理想ですがデメリットが起きないよう組織としてケアが出来れば最高だなと感じました。

私自身1ヶ月の育児休暇を取得しましたが職場からも勧められており取りやすい環境でした。私も当初は2か月、3ヶ月の取得を希望していたのですがやはり給与面に不安もあり、仕事を長期間離れる不安もありました。1ヶ月の取得としました。今回の学習会でもデータとしてそういった取得日数の少なさ(1ヶ月以下)が多かったのもそういった背景があったからではないでしょうか。講師の菅村さん含めそういった背景、仕組みをこれから次々と変えていこうとしているのでこれからの子育て世代が、どんどん周りからも勧められて、育児休暇が取れるようになってほしいと感じました。

育児休暇や介護休暇、利用しない人はあまり興味関心が湧きにくい制度だと思います。今回の学習会を終えて各々が直面する可能性のあることとして考えると、いまがどんな制度で行われて、いつ利用できるのかそれぞれ知っておいて損はない話だと思います。今回は育児休暇について深く掘り下げてお話しいただきましたが介護休暇についても機会があればぜひご講演してもらい、もっと知見を深めていきたいと思っています。

その後に講師の菅村さんを含め交流会を行いました。普段幹事会として行う真面目な取り組みの話の他に、お互いの自組織の取り組みや制度、はたまた雑談など普段あまり交流の出来ない女性委員会の方も含めて行うことができました。こういった交流もコロナ禍によりなかなか実施することも難しかったのですがこれから徐々に多くの組織とのつながりを作る良い機会ですので続けていければと思います。」

育児休暇や介護休暇については職場の環境によって制度そのものや取得のしやすさやにものすごく差があるというのが実情のように感じます。この差をどのように是正していくのかが大きな課題であり、菅村さんもおっしゃられていたように法律は最低限であり、各組織が活動を最低限のレベルを超えた制度に強化することが、将来の法改正につながっていくことになるので、より良いワークライフ

